

せったん

第166号 2016年11月25日

発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部



ライフプランセミナー「生前贈与」

さまざまなケース想定し 前々から対策を



小倉氏が生前贈与の活用方法を

北摂・丹波支部は共済部と共催で、9月24日、三田市総合福祉保健センターでライフプランセミナー「知っておきたい! 最新の生前贈与を活用した相続」を開催した。

分かりやすく解説

贈与が資金を自由に使えることが必要であるため、生前贈与する際には税務署に「名義預金」としてみなされないよう、①毎年贈与契約書を作成し、贈与者・受贈者双方で保管する、②基礎控除の110万円を超え

「税対策」を開催。三井生命保険株式会社元アドバイザリーグループの小倉英樹氏を講師に医師・歯科医師ら5人が参加した。
小倉氏はまず、最近の税制改正により相続税の基礎控除が大幅に引き下げられ、従来よりも多くの人が相続税を負担するようになった上、相続税率も引き上げられていることを紹介。贈与には1人あたり年間110万円まで基礎控除があり、早めに贈与することで相続税の負担を軽くできるとし、生前贈与を活用した相続税対策のポイントを分かりやすく解説した。
また、贈与は契約で、受贈者が資金を自由に使えることが必要であるため、生前贈与する際には税務署に「名義預金」としてみなされないよう、①毎年贈与契約書を作成し、贈与者・受贈者双方で保管する、②基礎控除の110万円を超え



舌小体短縮症について発表する大槻先生

協会では10月30日、第25回日常診療経験交流会を神戸市内で開催。医師、歯科医師、薬剤師、スタッフら208人が参加した。北摂・丹波支部からは、森下順彦支部長(三田市・もりした小児科)、大槻榮人支部幹事(三田市・大槻歯科医院)

贈与をし、毎年贈与税を申告する、③受贈者の口座の通帳、印鑑は受贈者自身が保管するなど、正しい贈与が大切だと強調した。
小倉氏は最後に、生命保険を活用すれば、贈与された資金をさらに有効活用する

第25回日常診療経験交流会

森下支部長、大槻支部幹事が

分科会で話題提供

分科会で報告した。
森下先生は「北摂地域の小児救急の現状と課題」をテーマとして、三田市における夜間などの時間外の小児救急は、遠方の急病センターを受診している場合があるなど、小児救急体制の不十分さを指摘した。大槻先生は「舌小体短縮症(小児姉妹に生じた症例)について」をテーマに、舌小体切除術の時期や機能障害の評価法などについて報告した。

《レクリエーション企画 ガラス工芸体験》

世界に一つだけ 思い思いの作品つくる

北摂・丹波支部は11月6日、三田市ガラス工芸館でレクリエーション企画「ガラス工芸体験」を開催。会

員やスタッフ、家族ら26人が参加した。
参加者は専門講師の丁寧な指導のもと、溶けた



参加者は吹きガラス(上)、スタンドグラス(下)、サンドブラストに分かれ体験した

ガラスを竿に巻き取り息を吹き込んで成形する吹きガラス、シールを貼ったコップに金剛砂を吹きかけ、磨りガラス状に仕上げるサンドブラスト、はんだ付けでオーナメントをつくるスタンドグラスの作成を体験し、世界に一つだけの、思い思いの作品を作った。

終了後、参加者からは「難しかったけど楽しかった。ハートの置物なども作ってみたいになった」「ていねいな指導で楽しく上手にできました」「おもしろい!!吹きガラスに再挑戦したい」などの感想が寄せられ、好評だった。
(次号に参加者の感想文を掲載予定)

会員訪問
インタビュー

父の思い引き継ぎ

今後も精進していききたい

三田市・福田歯科医院 福田隆光先生の巻



新たに支部幹事に就任した福田隆光先生
(診察室にて)

し」と話してくれ
たことがきっかけ
です。母方の祖父
も歯科医師で、歯
科医師の仕事を開
近で見られる機会も多
く、地域に根差し
た診療をしている
姿にあこがれるよ
うになり、歯科医
師をめざすことを
決めました。

朝日大学の歯学

支部幹事の先生に、診療
に対する思いや趣味など
を聞く、会員訪問インタ
ビュー。今回は新たに支部
幹事に就任した三田市・福
田歯科医院の福田隆光先生
に、歯科医師を志したきつ
かけや支部活動への意見な
どを聞いた。

(聞き手は編集部)

—お父様の故・福田俊明
先生(※)には支部企画や
国会要請行動など、大変お
世話になりました。本日は
インタビューをお受けいた
だきありがとうございます。
まず、福田隆光先生の
ご経歴や歯科医師となられ
たきっかけを教えてください。

福田 三田市で生まれ、
三田学園に中学・高校と6
年間通っていました。歯科
医師になろうと思ったの
は、高校に入ったころ、仕
事の話の家ではほとんどし
ない父が、急に「会社員に
なってもいいが、歯科医師
もいいよ。知り合いも多い

福田 昨年11月に結婚
し、開業を考えていた上に、
父が身体を悪くし、父を信
頼してくれている患者さん
の健康管理を今後もしっかり
行わないと、という思い
から、医院を継ぐことを決
心しました。

最初は父とともにあいさ
つ回りをしながら、診察を
始めました。地域の患者さ
んから愛され、信頼しても
らっている父の姿を見て、
偉大さを感じました。私は
まだまだ未熟者ですが、患
者さんとの話し合いをしつ
かり行いながら、心の通っ
た診療をめざしていきたく
いと思っています。

—在宅診療もされている
とのことですが。

福田 はい。大変です
が、訪問し、患者さんの話
をしっかりと聞いたうえで診
療すると、患者さんだけで
なくその家族にも喜んで
くれます。その姿を見ると、
私やスタッフもやりがい
を感じます。歯科の訪問診療
料は低く抑えられています
ので、協会には、診療報酬
の引き上げを引き続きがん
ばってほしいと思います。

—院長となられ、苦勞し
ている点がありますか。

福田 雇用関係ですね。
最初は何をしたらよいか分
からず、手探りの状態です
た。職員の雇用など、歯学
部では教わりませんので。
—最後にこれからの支部
活動についてご意見を
いただければと思います。

※福田 俊明先生
(7月28日没、享年69歳)

1947年生まれ。80年松本歯科大学卒
業、1984年三田市に福田歯科医院開業。
2007年7月から協会北摂・丹波支部幹
事、2009年6月からは協会理事となり、
協会・支部で活躍された

支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1807・9 / FAX 078-393-1820
e-mail sanda-a@doc-net.or.jp 担当；三田、石本まで



福田歯科医院 (三田市・上井沢)

福田 雇用や税制につ
いての研究会、スタッフも参
加できる接遇研修会などを
開催していただけるとあり
がたいです。

医院を継いで間もなく支
部幹事になりました。父が
大切にしてきた医院の名を
汚さぬよう、精進してい
たいと思っています。まだ
まだ未熟者ですので、今後
ともご指導ご鞭撻のほど、
よろしく願います。

—本日はありがとうございます。
ありがとうございました。